

平成 29 年度 高岡市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成29年度は、高岡市上下水道ビジョンに掲げる施策事業を推進するなかで、下水道の使命である生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除に鋭意取り組むとともに、事業運営の効率化を図り、経営の健全化に努めました。

下水道施設整備では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備に取り組み未普及地域の解消を図るなか、浸水対策として雨水幹線整備を進めるとともに、新たに老朽管路の更新事業に着手しました。また、基幹施設整備として四屋浄化センターと伏木浄化センターの散気装置改築工事などを実施しました。

<普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,379.95haで前年度に比べ 25.81haの増加。また、処理区域内人口は 161,969人で前年度に比べ 426人減少し、普及率は93.9%となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,673,995,043円、事業費用 5,324,702,794円で収支差引 349,292,249円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 3,745,521,442円（前年度財源充当額118,100,000円を除く）、資本的支出額 5,784,886,278円で不足する額 2,039,364,836円は、減債積立金 544,114,113円、過年度分損益勘定留保資金 115,293,995円、当年度分損益勘定留保資金 1,316,392,157円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 63,564,571円で補てんしました。